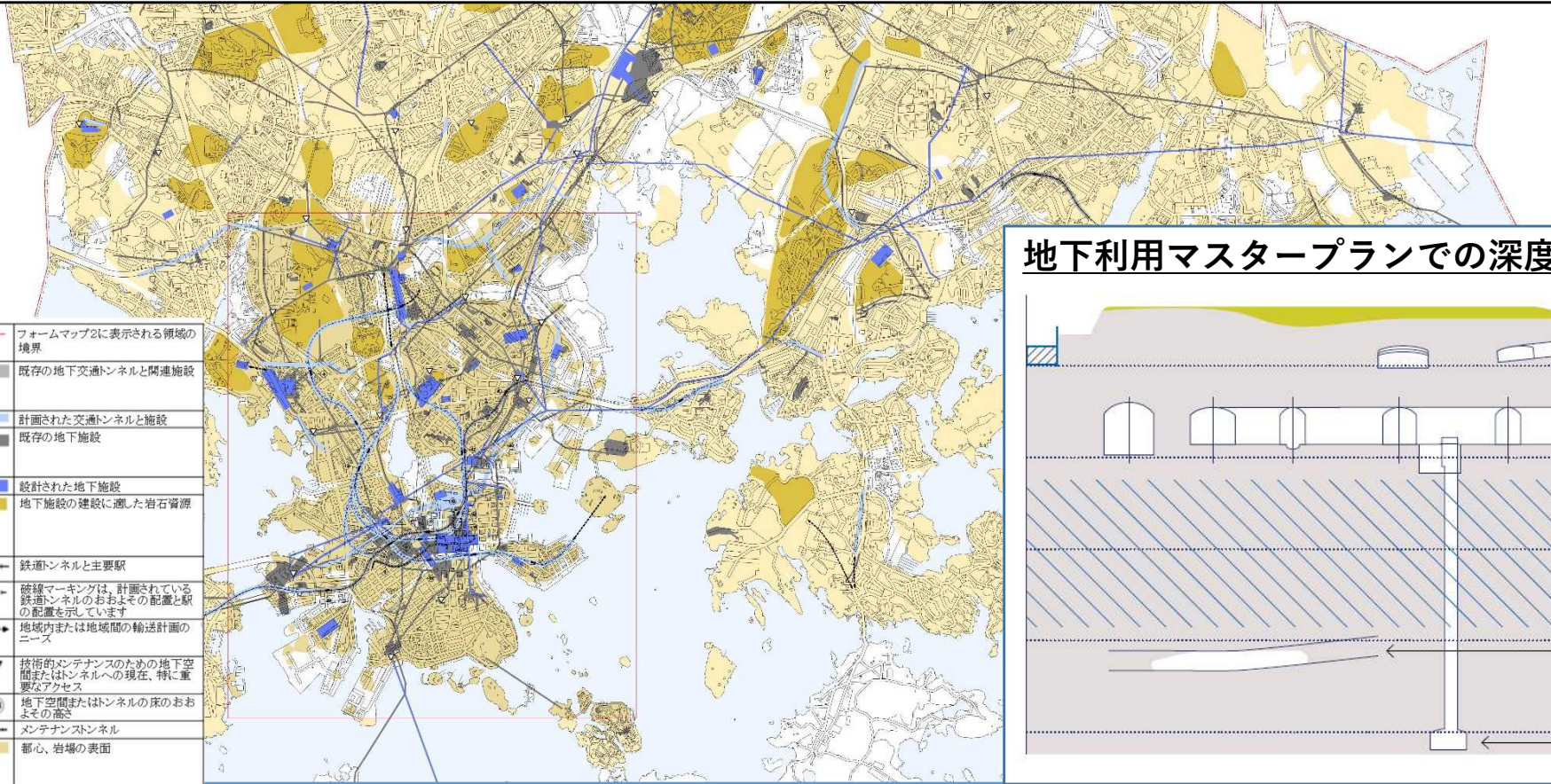


【戸田委員ご質問】

- ・本プランは理想像として計画されたプランとなるのか？
- 1960年代以降、面積に対し人口が多いヘルシンキ市では地下のスペースを活用
- 都市（地下活用）が密になるにつれ、様々な目的を持った地下施設や建設工事を管理（無秩序な拡大を防止）する必要性が発生
- 2000年代に地下マスタープランを策定（2010市議会承認）
- 地下空間の有効活用のため、様々な目的を有した施設を共同で建設し、効率的な利用を目指す
- 新規施設の位置づけや設置深さなどを定めているほか、既存の施設と新規施設の接続や利用方法の追加など、新規、既存を問わず今後の地下の有効な活用方法の在り方を定めたもの



地下利用マスタープランでの深度方向の利用イメージ

